

WS② ブラックレター

ゴシック体は、その強くてシャープな文字の形から、間違いなく最も主張の強いカリグラフィーの書体です。このワークショップでは、主として写本を書くために使用されたテクスチャー体から始まり、ルネサンス期に到るまでの、この書体の変遷を一緒に辿って行きます。

複雑で装飾豊かな大文字を含む

装飾的な要素が特徴のフラクトゥーラ体への取り組みは、今もなお様々な場面で使われるバリエーションに富んだ書体の、限らない可能性を経験させてくれます。

カリグラフィー用の平ペンで歴史的書体を書いて学ぶところから始め、続いて、平筆で「ひねり」を使ったより表現力豊かな方法で同様の書体を書きます。最終的には、より現代的で個性的な表現が可能な文字を書くことに取り組みます。



初心者から、専門家、そしてゴシック体についてより深く学びたいと思っている方、それぞれが参加できるコースです。

11月2日(水)・3日(木/祝)・4日(金)・5日(土)

印刷博物館 G ルームにて

<参加者のスキルレベル>

基本的なゴシック体を習得している方。

※初心者の方でも参加可能。

<持ち物リスト>

ワークショップの受講が確定した時点で、お知らせいたします。